

## 月形町地域拠点施設整備等に関する住民説明会（審議会主催） 開催結果

開催日時 令和2年2月4日（月）午後6時～7時45分  
開催場所 役場大会議室  
参加者 16名  
審議会委員 福井会長、土井副会長、香西委員、梅木委員  
事務局 企画振興課  
五十嵐課長、藤原参事、竹内補佐、會田主査

1 開 会 五十嵐課長

2 会長挨拶 福井会長

3 説明事項

（1）審議会開催等の経過の整備について

竹内課長補佐、別添資料にて説明。

（2）審議状況について

竹内課長補佐、別添資料にて説明。

### 【質疑】

Q1.

要望ですが、今日の説明だけでは傍聴側は、例えば皆楽公園のキッズエリアや未利用地などがどこを指しているのか分からず、審議会側とイメージを共有することができない。審議に参加した人は分かるかもしれないが、今日の説明を聞く側としては審議の結果よりも、そもそもどういった前提で話をしているのかイメージしづらいのではないかと思う。私は審議会を傍聴し、議員という立場なのでそれなりの資料を見る機会があり理解はできたが、それ以外の人は審議の中身まで理解をするのは難しいと思う。審議の内容を住民に説明するのであれば、審議結果をプレゼンするように写真や地図などでイメージを連想させ、それを踏まえて「このような結果になりました」という説明が良いと思う。今日だけの説明であれば、話がかみ合わず理解できないまま終わってしまうような気がするので可能であれば改善してほしい。再度、説明会を開催してほしい。

A1（会長）

貴重なご意見ありがとうございます。審議会としてプレゼンをするということにはならないと思う。長期間かけて全町民に説明するのかということになるのか。皆楽公園の整備の内容が分かりにくかったということか。

Q2.

個人的には住民説明会がどういう目的なのかが重要で、審議会で審議した内容を町民に問いかけ、「この答申に何か意見がありませんか？」という話をするのであれば、答申の中身をこちら側が理解しないと意見を言う段階まで届かないと思う。そういう

意味では答申書は、行政側にとって重要な書類であり、中身を理解し目的を達成するために何をするかといえば、プレゼン的なことになるのではないかと私は思う。

今回の審議会はグループワークも積極的に開かれており、できるだけ町民の意見を取り入れ新しい形を目指すのであれば、ぜひ一步踏み出した中で町民とともにあってもいいのではないかと思う。結局、傍聴側が理解できず説明だけで終わってしまうと、最後のところで結局審議会の方が決めたようになってしまったら残念だと思い、言わせていただいた。

## A 2 (会長)

ご意見ということで聞かせていただく。

地域拠点施設の整備について、例えばバスターミナルや、一番問題だったのが場所の選定であり、審議会としては小学校の敷地ということで決めさせてもらいましたが、この点も含めてご意見のある方は。

## Q 3.

4月1日からバスの運行が始まると聞いているが、町内の停留所はどのようになっているのか教えてほしい。審議会の内容だと小学校の敷地にターミナルを作るということは悪いことではないが、今、中央バスは町の中を通るが、ターミナルに国道275号から入り皆楽公園を經由し、浦臼方面へ進む経路になるのか。

## A 3 (会長)

バスの運行については、地域公共交通という会議で審議され、今の段階では月形の旧駅を中心にして代替バスが運行される。小学校の敷地での整備に関しては今年すぐに整備されるというものではなく、審議会として、場所に関しては委員の合意を得て決定した。中には学校関係者、実際に子供がおられる方もいたので丁寧に説明して決めてきた。バスのルートに関してはこの審議会としては回答できない。

## Q 4.

私たちがまず先に聞きたいのは、4月1日からバスの運行が始まるという中で、町民の足であるJRが5月6日には廃止なる。ただバスの運行で月形の町の中を通らないとなると、町の中が寂れていくような気がする。そういった部分はしっかりとやっていただきたいと思うし、それを真っ先に聞きたい人たちは結構いるのかなと思う。

## A 4 (会長)

代替バスは町内を通行すると理解している。地域公共交通については、町民に時刻表やバスマップを今後、配布されると思われる。

## Q 5.

これは何年先を見越しての計画なのか教えてほしい。

#### A 5 (会長)

拠点施設のバスターミナルは3～4年位かと思う。小学校の敷地ということで、審議会で答申した後も、教育関係者との協議やPTA、保護者の方の理解があって、進める話だと思う。

#### Q 6.

6月の住民説明会では、拠点化を含めた整備の大義名分が何かを話をした。コンパクトシティと公共交通の最適化についての内容だったが、公共交通についてはまだまとまっていない。その辺の組み合わせ、両方の大義名分の取り合わせでこの事業を進めるか、そうでないかを定めるべきではないかと行政に説明を求めたが、その時は答えられなかった。

その時に、審議会委員も同席していて、それを踏まえて審議会として、この事業を何のためにやるのかを審議したのか。この資料の内容を見て驚いた。とにかく全部書いてあるが最終的には色々検討して、役場が決めるのか、誰かが決めるのか、場合によっては設計段階で精査するという事になっている。

道の駅、拠点化と皆楽公園と、現状・課題があったり、コンセプトから始まったり、3つとも資料の整理の仕方が違う。統一した整理が必要ではないか。

道の駅に関しては、拠点化と全く同じようなまとめになっている。

こんな事になっているのことに、審議会委員はなぜ気づかないのか。税金を使って会議を開催している。たくさん審議したのは大変だったと思うが、役場の意見や審議会委員の意見のまとめ役がないから、全部盛り込んでいる。そのうち、誰かが決めて下さいというような内容で、このまま答申になるということを危惧している。

また事業費や年限をある程度決めないと、事業をやっているのかわからない。施設を作って、人を配置して人件費がどれくらいかかって、採算を考えて作っていかなくてはいけない。これから毎年100人人口が減る、10年たったら1,000人減る。それを考えるとこんな大風呂敷を広げていいのか。その辺を責任を持って審議会として言えるのか。酷な話ではあるが。

最初の大義名分が公共交通やコンパクトシティにあって効果があればいいが、そうでなければ、周辺地権者や工事業者にだけ恩恵があると思えない。そういうことをきちっと審議してほしいし、しっかりとやっている様に見えない。このまま全部書いて出すとしたらこれは答申ではない。町は受け取ると思うが、こういうことを期待したのではないということをはっきり言っておきたい。こんなことを将来やるんだしたら、自分は町税を払いたくない。

#### A 6 (会長)

貴重なご意見に感謝する。

審議会としては、しっかりと議論してきた。何も考えてないのではないかと、というような指摘であるが、町から諮問され20人の委員が審議に関わってきた。月形町をもっと住みやすい町にしたいと思って議論してきた。月形町のPRについても考えていくうちに、道の駅の話になり、拠点施設と同じような内容になっているかもしれ

ないが、少しでも町が賑わいがあるものになるように考えた。

最初に話し合いをした際に、町民を中心にするのか、それとも町外に向けてのPR、観光なのかについても考えた結果、町民のためでもあるが、町外へのPRも必要だと考え、拠点施設については国道275号沿いではどうかということで検討してきた。

金銭的（事業費）なことになると、話が進まなくなることもあり、これらの意見等も審議会の方で検討させていただきたいと思う。

#### Q7.

まず、審議会委員の皆さんにご苦労様と申し上げたい。

今までこれだけ大きな課題に直面して解決していかなければならないという状況は自分が知る限り初めてだと思う。JR廃線が大きなきっかけであり、皆楽公園、道の駅などの大きな課題を一気に検討しなければならぬということで、今回審議会には苦労をかけたと思う。議員の1人として議会でも真っ正面からこういった問題に取り組んで来なかったという点では反省する。

こういったことを検討してきたこの手法は苦労したかと思う。

資料を見た中では、これまでの課題についてしっかりと向き合って検討してもらったと思う。

これから、議員としてこの問題をしっかりと検討していかなければならないと思っている。課題が整理されていて、町民の意識というものが、このまとめに反映されているものと思う。

はっきりとした方向性が明確に示されていないとは言い切れないが、今の段階で月形町にとっての問題にどのようなスタンスで向かうべきだと言うことは示されていると思う。

特に、小学校敷地に拠点施設を整備することを大きな問題。町の軸をどこに持って行くかということが重要で、今までは駅が軸だと思っていた。

そういった中で、小学校を示したということは大きな英断であり、ここから町の姿を考えるステップができたと思っている。これからは、色々なことが出てくるかと思うが、ここを軸にしてこれから、まちづくりを展開して行くかを考える必要がある。

そこで、これから時系列を整理する必要がある。代替バスなどの直面している問題や、小中一貫校の問題や、今すぐやることと、数年後に向けて準備してやることがある。この点は審議会の範疇を超えている部分ではあるので、議会や行政でも考えていかなければならないと思う。

#### Q7.

時系列の話ですが、4月から代替バスが運行される、しかしバスターミナルはできないので、暫定的に駅を使用し、後にバスターミナルが整備される。小学校敷地であれば学校併設なのか、バスターミナルが整備されるころには、小中一貫校ができるのか、その辺が見えないがその点は議論されたのか。

A 7（会長）

審議会としては、小中一貫校に触れたが、学校問題については教育サイドの問題である。教育委員会とは調整はしていない。

Q 8.

小中一貫校についてはどうなるか決まっていないということか。

A 8（会長）

小中一貫校に関して答申に文言は入れる。委員には教育委員やPTAが入っているので、はっきりしたことはわからないが、議論されるかと思う。

A 9.

3～4年で拠点施設の整備されるというような話があったかと思うが、一時は小学校と拠点施設が併設されるという可能性が高いということか。

A 9（事務局・五十嵐課長）

審議会としての答申は、具体的な整備スケジュールは議論していない。町としてもそこまでの諮問はしていない。

教育委員会では、コミュニティスクールを進めており、その協議会の中で小中一貫校について議論されるということになっており、教育の専門分野で今後話し合われると思う。審議会としては具体的な部分は申し上げることはできない。

A 1 0.

審議内容を答申した後、この審議会は今年はどう関わっていくのか。

A 1 0（事務局・五十嵐課長）

任期は2年となっている。今後、町が方針を決めて、より具体的な整備について検討していく段階でも、何かしら関わってもらいたいと考えている。

（会長）

皆楽公園の整備について、資料を配付したので説明願う。

（事務局・竹内課長補佐）

※皆楽公園の再整備に関する6つのゾーニングについてゾーニングや再整備を必要とする施設等について資料（図面）に基づき説明。

（会長）

道の駅の整備については、拠点施設の整備や皆楽公園の整備を議論していく中で、議論が道の駅につながっていく。道の駅の整備については、はっきりした結論は出せなかったが、一定の議論内容をまとめて答申したいと考えている。

Q 1 1.

皆楽公園の整備は、大急ぎでやるのか。今後、整備について考えていく上で、整備内容や担い手のことや、色んな話し合いがされて盛り上がったかと思うが、この議論を楽しめたのか。

A 1 1 (会長)

グループ会議も行い、色々な課題や解決策など、話が大きくなりすぎる場面もあった。多少ブレーキをかけながら進めてきた。答申書には細かい部分までは表現できないが、多くの意見交換、議論を行った。

Q 1 2.

私は一度、他の審議会に参加したことがあったが、話が盛り上がりなくて楽しくなかった。この審議会の任期もまだ1年あるので、長いスパンで公園整備を考えて、どうやって楽しもうかと言うのを考えて行ければいいと思う。

Q 1 3.

道の駅について。何か決まったわけでも無いと思うが、近隣にも道の駅があつて、特色あるものと言うことが示されているが、審議会ではどんな意見が出たのか。

話は戻るが、視察研修に行かれているが、視察で何か参考になる部分があつたかどうか聞きたい。

A 1 3 (副会長)

両方の視察に行った。恵庭の施設は保健センターや、夜間病院、テニス、フィットネス、コンビニが入った施設だった。

南幌は、小学校統合後による、空き校舎を利用した施設で、図書館、体育館も整備されていて、郷土資料館もあつた。月形でも、JRの関係や教育につながるようなもの、何か町の歴史に関するものが展示されるような施設があればいいと感じた。

南幌の施設には、教育委員会が入っており、教室をサークル活動などに利用されている。

浜頓別は、広い敷地に道の駅が整備されていたが、自分のイメージとは違った。お土産とか売っている道の駅ではなく人を育てる施設だと思った。施設には、こどもの遊び場、子供用のトイレが整備されていた。月形にはそういったものが整備された施設がない。そして、ホールも細かく仕切ることができていて、工夫した設計だった。

しかし、最近の道の駅のように人がたくさんいて賑わっているという施設ではなかった。地域の人が集う場所ということで、最近の道の駅を考えるとイメージと違った。こういった道の駅もいいと思った。

名寄市もバスターミナルが併設された拠点施設で、ターミナルとしては大きくない。学生が集まるようスペースもあり、集う場所としては良かった。

月形を良くしようと思うためには、月形のことを知ることも大事であるが、他の地域の状況を知ることも重要であると感じた。色々な刺激を受けることも大事である

A 1 3 - 2 (事務局・竹内課長補佐)

道の駅の議論中で、温泉やキャンプ場を活用した道の駅や町の歴史にスポットを当て、樺戸博物館を活用した道の駅の整備等が意見としてあった。

Q 1 4.

審議会としては、皆楽公園に道の駅を整備するのか。副会長の話では国道沿いという話だったかと思うが。どうなのか。

A 1 4 (会長)

具体的に道の駅の建設地は決めていない。拠点施設整備の中で、学校敷地において段階的に整備して行くことも考えられるのではないかという話があった。どこに整備していくということは決めることができていない。

(梅木委員)

拠点施設の必要性について質問があったが、グループ討議でもその必要性について議論してきた。自分のグループ会議では、必要じゃないという意見もあった。自分も迷った。

2年前に地元に戻ってきて、町民同士の交流の場が少ないと感じた。これを作るのであれば、そういった場所でなくてはならないという話になり、コンセプトに沿った施設として、町の人々が安心できる場所として、まちづくりにつながっていく場所として整備する。今はそのようば場所がない。

建設コストに見合ったものになるかということも話し合った。採算性は難しいということは話したが、細かいところまでは議論しきれなかった。もし建設するならば、交流して安心できる施設がほしいということになった。

10年後20年後どんな町にしたいかということも真剣に話し合った。今回の審議会は若い人たちが集り審議会に楽しく参加できた。言い過ぎたくらい。意味があった。

この答申が通るかどうかは別で、もっとこういう話し合いを多くの町民も参加して、ワークショップを繰り返していけばもっと良くなる。その始まりではないかと感じている。今回の議論が決定事項ではなく、これからも議論を重ねて前向きに考えるべきである。これから人口が減っていくのは確かで、暗い気持ちしかならない中で、暗い話をしていても子供たちの未来は見えない。

(副会長)

梅木さんに同感である。今日はもう少し若い年代の方が来るかと思った。審議会委員も町民で、今日、参加した皆さんと同じ立場である。皆で一致団結して、それぞれの立場でまちづくりに参加して、親や大人がやっていることを子供たちに見せるということが大事である。

子供たちに大人の姿を見せて、これからの月形がどう変わっていくか、将来その大人の頑張りが感じてもらえるようなことをやっていかなければならない。

皆で一緒に頑張りませんか。  
(会場から拍手あり)

(会長)  
他に質問や意見が無ければ、以上をもって説明会を終了する。